


「まちづくり」で
大切なことって
なんだろう？

まずは、ヒントになりそうなことを見つけてみよう

いまみなさんが暮らしている静岡市が、もっと住みよいまちになったらいいと思いませんか？
そのために目指す姿を決めて、アイデアを出し合って実現させていく、それが「まちづくり」です。
世界中にはさまざまなまちがあって、それぞれ個性あふれるまちづくりが行われています。
ただ、いざ「やろう!」と思っても、何から手をつけていいのか迷いますよね。だから最初は
そんなに難しく考えず、人気のある他のまち、住んでいるみんなの声、静岡市の自慢できること、
そんなシンプルなことをいろいろ「見つける」ところから始めてみるのが大切です。





はじめに、
みなさんの声を
聴いてみました。

まちづくりの主役は市民のみなさん一人ひとりであり、
みなさんのためのまちづくりです。

その声に寄り添って考えることが、まちづくりの基本です。

みなさんはいまの静岡市をどう思っているのか、
どうなってほしいのか、まず聴いてみました。

やっぱり
地元の会社や
働く人たちが
元気じゃないとね



市外から
たくさんの人に来て
賑わっていてほしいな



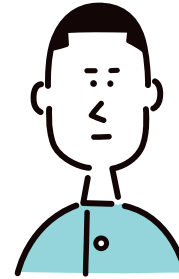
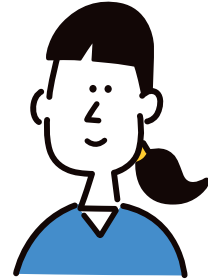
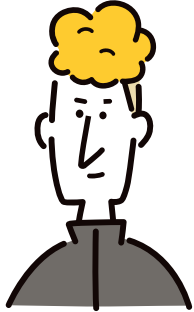
子どももお年寄りも
元気に暮らせる
まちがいいな



人気の移住先だし
市外の人も
静岡市の良さに
気付いていると思うな



高速道路も
新幹線もあって
どこも行き来するにも
便利だね



大学や
専門学校もあるし
若者が活躍できる
まちにしたいな

まちが
キレイでおしゃれだと
自慢したくなるよね

暖かいし
自然がいっぱいだし
なにより住んでいる人が
穏やかで優しいよね

野菜も果物も
肉も魚もお茶も
とにかく食材が豊富で
どれも美味しいね

大雨とか
地震が心配だから
災害に強くないとな

あなたの声も
聴かせてください



.....

.....

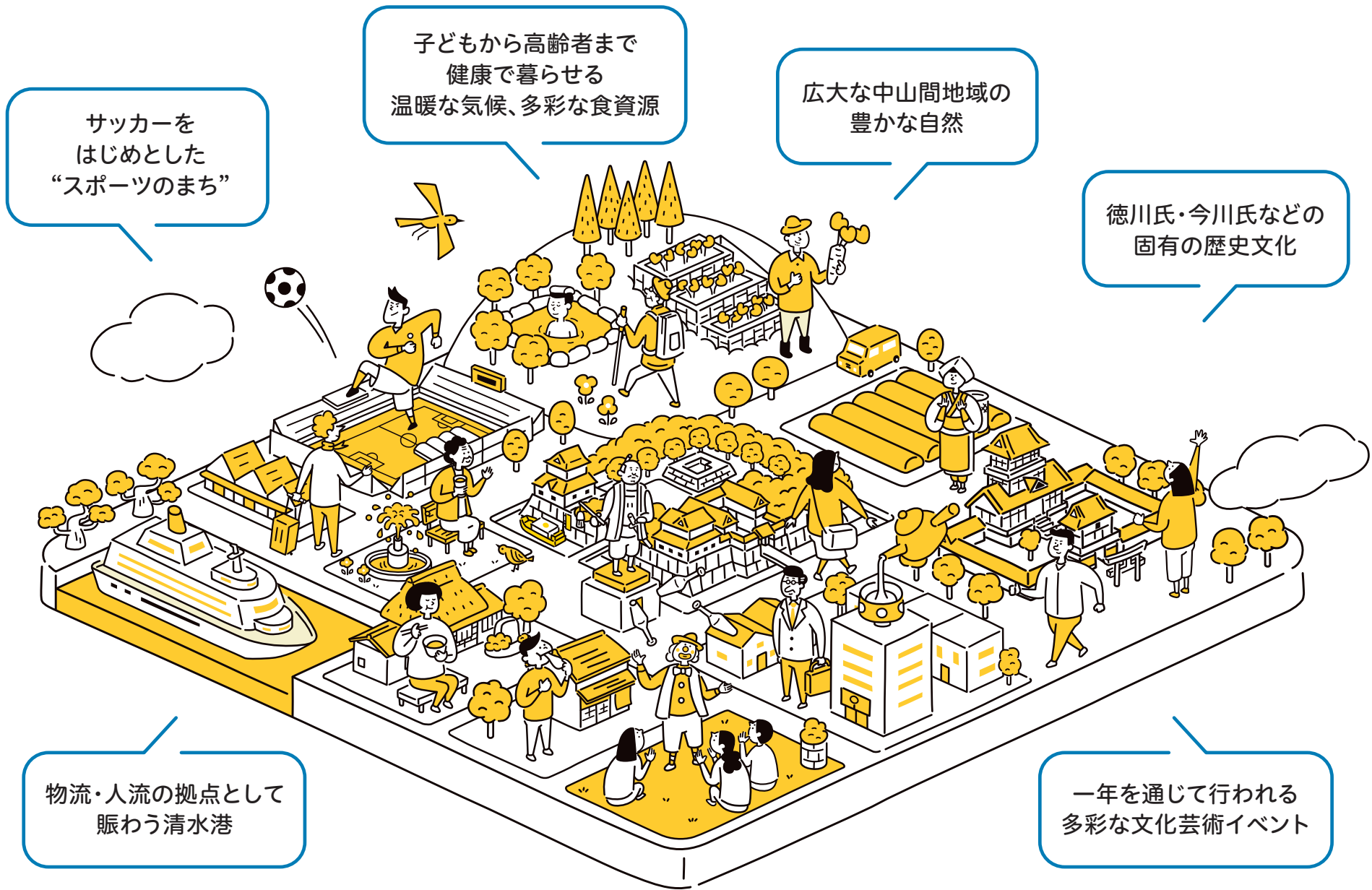
.....

.....



つぎは、 静岡市のいまを おさらいします。

ずっとそのまちで暮らしていると、
なかなか良いところに気付かなかったりします。
ただ、改めて考えてみると、まちの中にはいろいろな魅力が
あふれていることがわかるのではないのでしょうか。
静岡市にどんな地域資源があるのか、おさらいしてみましょう。



サッカーをはじめとした
“スポーツのまち”

子どもから高齢者まで
健康で暮らせる
温暖な気候、多彩な食資源

広大な中山間地域の
豊かな自然

徳川氏・今川氏などの
固有の歴史文化

物流・人流の拠点として
賑わう清水港

一年を通じて行われる
多彩な文化芸術イベント

あなたが思う静岡市の
魅力は何ですか？

.....>

.....

.....

.....

いま、世界は どうなってるんだろう？

地球温暖化や貧困、差別、紛争など、世界はむずかしい課題をたくさん抱えています。このまま何もしないでいると、地球に住めなくなってしまうかもしれません。

いま世界で起きていることを知って、自分たちに何ができるのか、何をすべきかを考えることが大切です。





SDGs

世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみなで2030年までに解決していこうという目標のことで、各国の政府や自治体、企業などの積極的な取組が求められています。



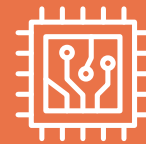
ジェンダー
平等

すべての人が性別に関わらず、平等に機会が与えられ、自分らしく生きることができる社会の実現が求められています。



GX
グリーン・
トランスフォーメーション

地球の気候変動への対策として、2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向かって、クリーンエネルギーを中心とした経済社会システムへの変革が求められています。



DX
デジタル・
トランスフォーメーション

市民生活、経済活動などのあらゆる場面において、デジタル技術を活用して社会変革を図るDXの推進が求められています。




多文化
共生

すべての人が国籍や民族などによって差別を受けることなく、多様な文化や生活習慣が尊重され、あらゆる場面でお互いに助け合い、学び合える社会の実現が求められています。



人口減少・
少子高齢化

日本の人口は2010年から減少を始め、同時に急速な高齢化も進行しており、地域の活力低下や経済活動の停滞などが懸念されています。



静岡市のいまを知って
世界の動きを見れば
わたしたちのまちは
もっと輝ける。

まちづくりの主役は市民のみなさん一人ひとりです。

その声を聴き、静岡市のいまを知って、世界がどういう課題に直面しているのかがわかると、

これからの静岡市をもっと輝かせるための道がうっすらと見えてきます。

市民のみなさんが道に迷わないように、まちづくりの目標を決めて、

それを実現するための取組を考えていきましょう。



まちづくりの目標

「世界に輝く」

東京や大阪、ニューヨークやロンドン、上海など、人口や産業が集中している大都市を目指そう、という話ではありません。地方都市であっても、一定の経済力があって、歴史や文化、自然が豊かで、そこに住む人たちがイキイキと元気に暮らしていける、そんなまちを目指していきます。

よく見てみると、静岡市には世界のどの都市にも引けを取らない魅力あふれる数多くの地域資源があります。

まちの特徴を見つけて、活かして、さらに磨きをかければ、地球儀の中でキラリと光るまち、つまり「世界に輝く静岡」になることでしょう。



静岡」の実現



「ひと」が輝く

静岡市に暮らす
市民一人ひとりが、輝いて、
自分らしい人生を
謳歌できるまちであること



“輝くまち”のイメージって、どんなまちでしょう？やっぱり、そのまちで暮らす市民一人ひとりが、未来に希望を持って、いつまでも暮らしたい、まちづくりに関わりたい、と思って輝いているまちは、キラキラして見えますよね。

ひとが輝いていれば、世界に輝けるでしょうか？いやいや、まちそのものに魅力がなければ、いつか活気や賑わいは失われます。
住む人が誇りをもって、訪れる人や関わる人が憧れを感じる、そんなまちであり続けたいですね。



「まち」が輝く

静岡市が擁する
地域資源を磨き、輝かせ、
世界から注目され、
人々が集まるまちであること

静岡市の魅力を 活かすところから まちづくりを考えてみよう

まちづくりの目標の「世界に輝く静岡」を実現するためには、まち全体の魅力を広く大きな視野で考えることが必要です。静岡市にある地域資源をまちづくりに最大限に活かすため、5つの政策としてまとめました。

政策

1

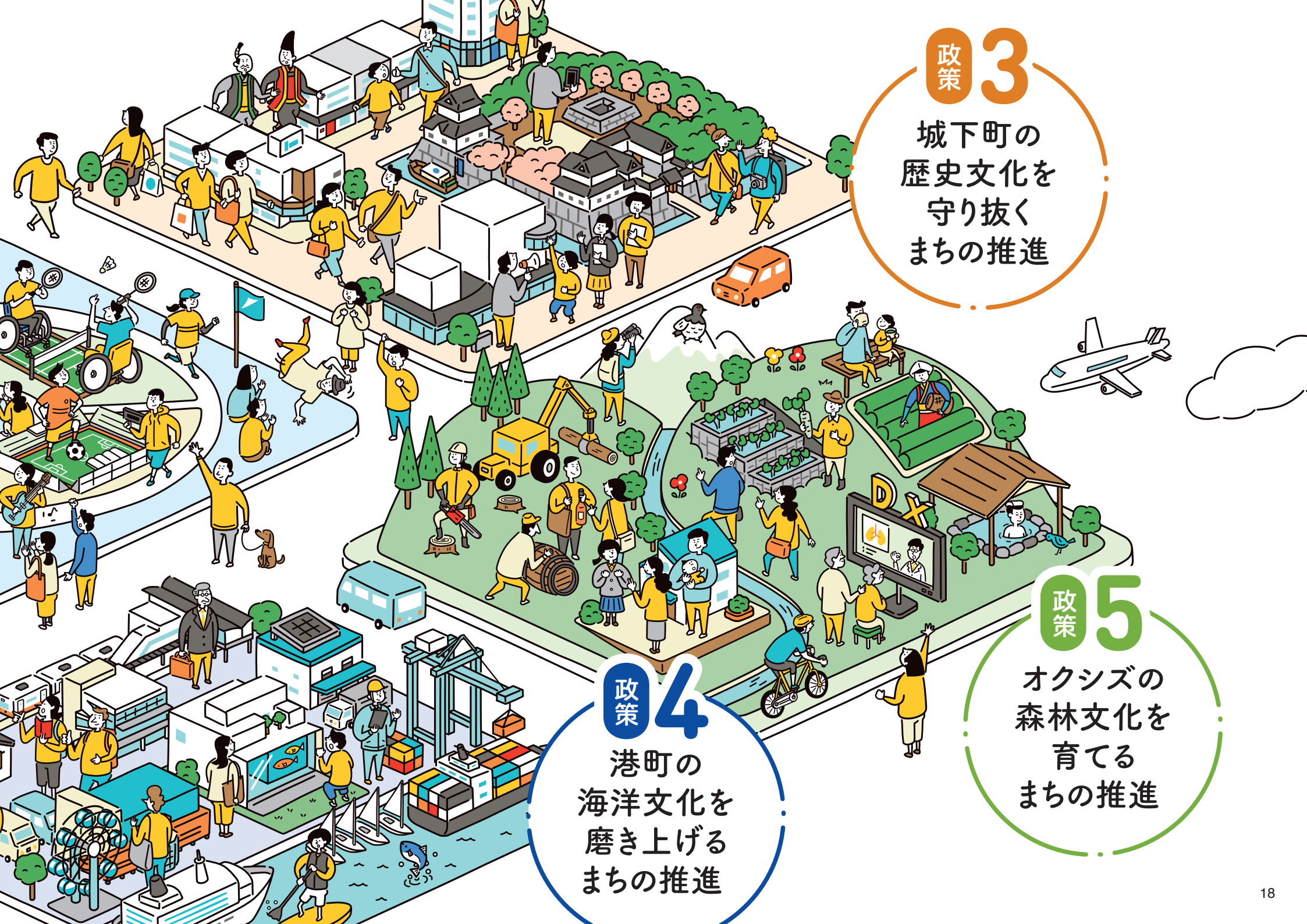
子どもの育ちと
長寿を支える
まちの推進

政策

2

アートと
スポーツが
あふれる
まちの推進





政策

3

城下町の
歴史文化を
守り抜く
まちの推進

政策

5

オクシズの
森林文化を
育てる
まちの推進

政策

4

港町の
海洋文化を
磨き上げる
まちの推進

みんなの声

子育て世代への支援を厚くして、子育て世代に選ばれるまちを目指してほしい。



子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、子どもが安心して学ぶ・生活できる場は必ず必要。



みんなの声

「予防」という視点が大事だと思う。若い時からの健康づくりが大事。



就労支援に関するボランティア活動で培ったノウハウを活かし、ひきこもりや就労できなくて困っている人の手助けをしたい。



こんなので どうかな？



子どもが安心して育ち 子育てしやすい環境の充実 ～しずおかハグくむ子育てプロジェクト～ (しずハグ)

安心して楽しく子育てができる環境を整備するとともに、困難を抱える子ども・若者といった特別な支援を必要とする市民への対応の強化などに取り組みます。

住み慣れた地域で健康で 自分らしく暮らすことの できる環境づくり

誰もが住み慣れた地域で、いつまでも健康で暮らし活躍できるよう、様々な関係機関等の連携による切れ目のない支援体制の構築や、市民の自主的な健康づくり、就労・社会参加できる環境づくりなどに取り組みます。

それなら こうしよう！



01

主な取組

- 第2子以降の保育料完全無償化
- 伴走型相談支援
- 屋内遊び場整備
- 子育てに関する情報発信
- ヤングケアラー※1支援
- インクルーシブ教育・保育※2の推進

02



主な取組

- 健康に係る情報の「見える化」
- 適切な食事や運動の機会の提供
- 疾病予防、重症化予防、介護予防の実施
- 就労、ボランティア活動、生涯学習等の社会活動を行う機会の創出
- 高齢者や、就職氷河期世代、障がい者など多様な就労困難者の就労・社会参加の支援
- 地域での支え合い体制の整備

※1 ヤングケアラー：本来の年齢に見合わない責任と負担を負いながら、家事や家族の世話などを日常的に行い、自身の生活や健康に影響がある子ども・若者
※2 インクルーシブ教育・保育：多様性を尊重する共生社会の実現を目指し、障がいの有無にかかわらず、共に学ぶことを目指す教育・保育

文化芸術とスポーツで、暮らしに潤いを、活発な交流を

文化芸術やスポーツは、人々の感性や創造性を育み、人生に潤いと活力をもたらしてくれる欠かせない要素です。静岡市では、演劇や音楽、伝統芸能といった四季折々に展開される「まちは劇場※1」による文化芸術と、サッカーをはじめとするさまざまなスポーツが、私たちの暮らしに根づいています。これらをさらに磨き上げ、まちづくりに活かしていくことが大切です。



みんなの声

子どもや若者が、気軽に参加出来る文化イベントが多くあると、街も、活気が出て良いと思います。



プラモデルなどの地域の産業も新しい文化のひとつとして推進して欲しい。



みんなの声

スポーツを活かした人々との交流で経済を活性化させて欲しい。



障がいの有無や、年齢・性別関係なく市民一人ひとりがスポーツできる仕組みづくりが必要だと思っています。



こんなのでどうかな？



文化芸術の力を活かした国内外との交流促進と文化芸術に親しむ環境の充実

市民が日常的に文化芸術に触れ、参加する機会の創出や、本市の文化芸術を求めて国内外から多くの人々が訪れるための仕掛けづくりなどに取り組みます。

スポーツの力を活かした国内外との交流促進とスポーツに親しむ環境の充実

市民スポーツからトップスポーツまで、それぞれのステージでスポーツに親しむための環境づくりや、スポーツを通じて国内外の人々との活発な交流を促進するための場づくりなどに取り組みます。

それならこうしよう!



01



主な取組

- 静岡市民文化会館の再整備
- 賑わい創出イベントの開催
- 市民参加型舞台公演の推進
- 「まち劇場」プロモーションの推進
- 静岡市プラモデル化計画の推進
- 国際文化交流の推進

02



主な取組

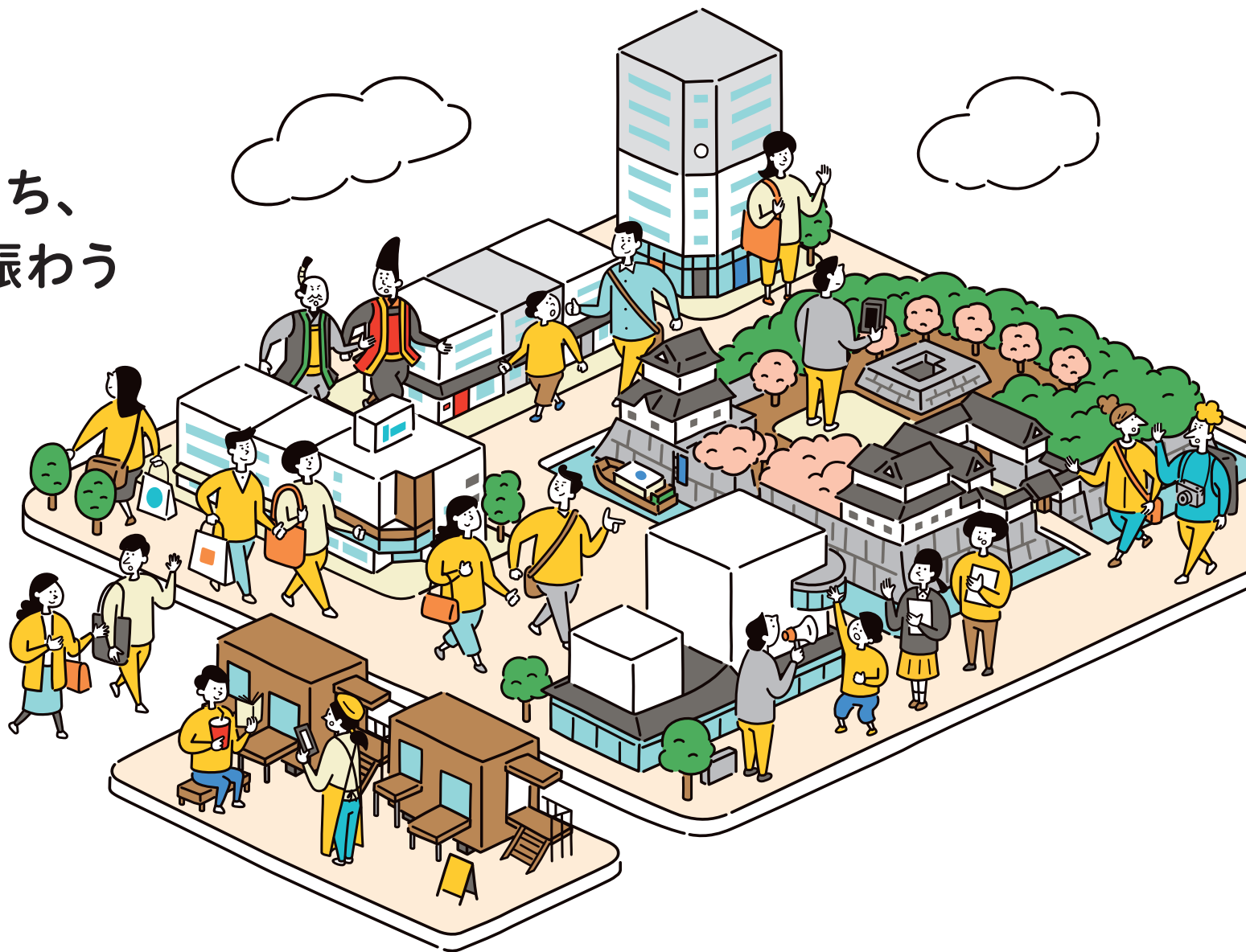
- アリーナ整備の促進
- サッカースタジアム整備の検討
- プロスポーツチーム等連携プロジェクト
- 台湾とのスポーツ交流
- パラバドミントンサポートシティの推進
- 部活動改革「シズカツ」の推進

政策 3

城下町の歴史文化を守り抜くまちの推進

歴史文化に誇りをもち、 まちを愛し、まちが賑わう

駿府城公園を中心とした静岡都心は、260年にわたる天下泰平の時代を築いた徳川氏などにまつわる数多くの歴史資源と、商業やビジネスに便利な都市機能を兼ね備えています。城下町ならではの特徴を活かして、歴史資源と高度な都市機能が合わさった、静岡市ならではのまちづくりを進めていくことが大切です。



みんなの声

施設を新しく建てて観光地になるのは良いと思うけど、頻繁にイベントがあって、ずっと盛り上がりが続くようにしてほしい。



歴史博物館・駿府城公園周辺に観光客だけでなく、地元の人達が集まりたくするような魅力が欲しい。



みんなの声

歴史で人を集めることができるとても魅力的だと思う。歴史と他分野を結びつけることが出来たらいいと思う。



街中はとてもコンパクトで回遊性が良い。週末の歩行者天国も歩きやすくて好き。魅力ある施設を増やして、どんどん街を活性化させてほしいです。



こんなので どうかな？



駿府城公園周辺の 歴史資源を目的とした 来訪の促進

来訪の目的となる拠点の整備とそれらを活用したイベント等を実施するとともに、市民が徳川氏をはじめとした本市の歴史を理解する機会の創出や、国内外に向けた歴史資源の魅力の発信などに取り組みます。

中心市街地の 更なる賑わいの創出

豊富な歴史資源と中心市街地の商店街等をつなぐための回遊性の向上を図るとともに、魅力ある施設の整備や公共空間の活用を通じた賑わいづくりなどに取り組みます。

それなら こうしよう！



主な取組

- 歴史博物館を活かした「歴史探求」「地域学習」「観光交流」機会の提供
- お堀の水辺(葵舟)の活用
- 駿府城跡天守台野外展示の整備
- ナイトツーリズム※1の推進
- 東海道歴史街道まち歩き推進
- 駿州の旅日本遺産の活用



主な取組

- 市街地再開発事業等の推進
- 商店街の賑わい創出支援
- 学生と連携した商店街の課題解決
- しずチカ空間の再構築による賑わいの創出
- 静岡駅南口駅前広場の再整備
- 歩いて楽しいまちづくりの推進

※1 ナイトツーリズム:夜間帯の観光

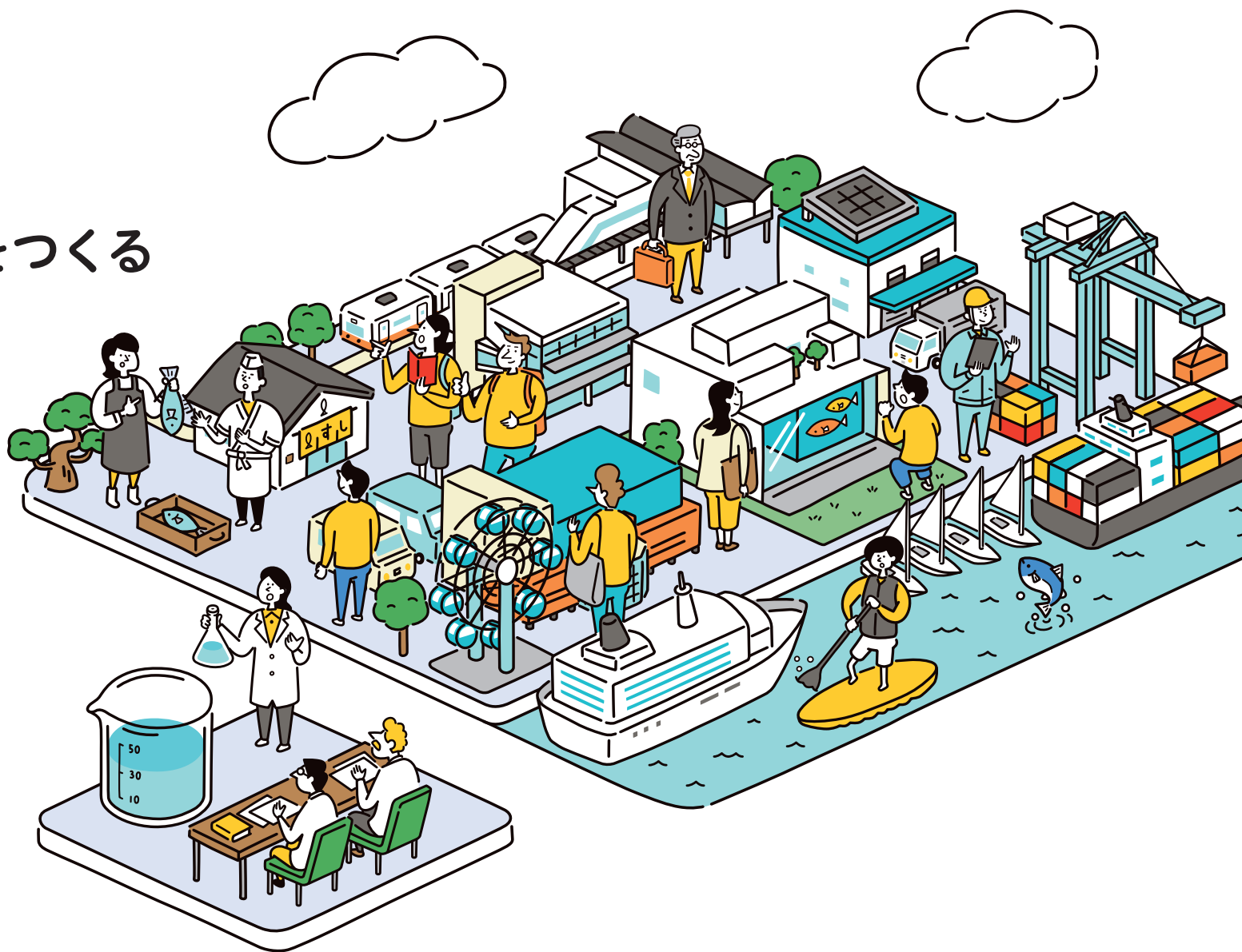
政策 4

港町の海洋文化を磨き上げるまちの推進

モノもヒトも集まる 国際的な海のまちをつくる

国際拠点港湾である清水港は、国内有数のコンテナ取扱量やクルーズ船入港隻数を誇る物流・人流の玄関口であり、その周辺には大学・研究機関に加え、三保松原などの観光資源があります。

こうした高いポテンシャルを活かしながら、「みなと」と「まち」がひとつになって、環境と経済が調和したまちづくりを進めていくことが大切です。



みんなの声

客船の観光客を
どのように商店街や周辺施設に
誘導するかなど、
港と中心市街地の連携が
重要だと思う。



観光客だけでなく、
地域住民が日常的に
訪れたいような
エリアになると良いと思う。



みんなの声

南アルプスから
駿河湾までの高低差がある
静岡市独特の地形を、
海洋に関する様々な研究に
活かしてほしい。



新たな開発によって、
次世代の産業や企業を
誘致するなど、
雇用を生み出す考えも
必要だと思う。



こんなので どうかな？



清水港周辺の 更なる賑わいの創出

清水港周辺エリアにおける賑わい
創出の核となる拠点の整備や、清水
港の魅力の国内外への発信を通じ
た多くの来訪者の誘導などに取り
組めます。

清水港・駿河湾の特徴と 環境を活かした 産業・研究の活発化

脱炭素などの高い付加価値を生み
出す産業の振興や、海洋関連の国
際会議・イベントなどの誘致を戦略
的に推進するとともに、産学官など
の多様な主体の連携による海洋に
関わる人材の育成などに取り組み
ます。

それなら こうしよう！



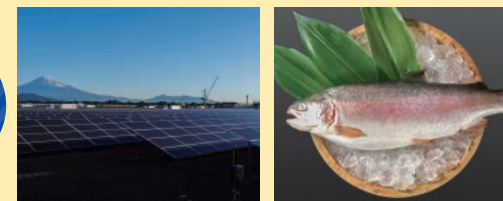
01



主な取組

- 海洋文化施設の整備
- 海づり公園の整備
- 清水港線跡自転車道歩行者道の整備
- 清水駅周辺地区の次世代交通の検討
- 清水港客船誘致の推進
- 清水駅東口の歩行者ネットワークの強化

02



主な取組

- 脱炭素先行地域再エネ設備等導入の推進
(日の出エリア)
- グリーン水素供給施設整備の促進
- 海洋産業クラスター創造の推進
- 清水港ポートセールス※1の強化
- 清水港コンテナ航路の誘致
- 清水港整備の推進

※1 ポートセールス：貨物船、客船等の船舶や貨物を誘致するため、国内外の船社や荷主、旅行業者等に対して、港を利用するメリットをPRする取組

政策 5

オクシズの森林文化を育てるまちの推進

豊かな自然を守り育て、 人々が暮らし続ける

静岡市の約80%を占める中山間地域は、豊かな自然と伝統文化、農林業といった人々の暮らしが共存し、「オクシズ」の愛称で親しまれています。市街地の豊かな暮らしにも恩恵をもたらすこの地域の魅力と強みを活かし、安心して住み続けられるオクシズを形成していくことが大切です。



みんなの声

移住するにも
医療や教育、働く場所などの
暮らしやすい生活環境が
必要だと思う。



高齢化社会に
なっているので、
病院、買い物に出かけやすい
交通手段が必要。

みんなの声

静岡市の中山間地域は
自然や観光資源、食、文化資源等
貴重な資源の宝庫であり、
オクシズの活用は、これからの
静岡市に重要。



温暖な気候や、森林など
自然が大きな魅力。
オクシズの特産品のPR、
都市からの移住など、
農林業などに力を入れた
政策があるといい。



こんなので どうかな？



オクシズの 生活利便性の向上

オクシズで安心して生活を送るための買い物、医療、教育等の生活機能の維持や、地域コミュニティを活性化するための移住促進等による新たな担い手の確保などに取り組みます。

オクシズの 雇用と仕事の確保

農地や森林の適正な利用と保全を意識した経済活動のための環境づくりや、新たな観光交流拠点の整備と観光客を呼び込むための効果的な情報発信を通じた地域の賑わいづくりなどに取り組みます。

それなら こうしよう！



01

主な取組

- 移動販売やオンラインを活用した買い物支援
- 遠隔医療導入に向けた検討
- 学校の適正規模化の検討
- 中山間地域での交通システムの検討・実験
- 両河内スマートIC(仮称)整備
- 中山間地域への移住促進



02

主な取組

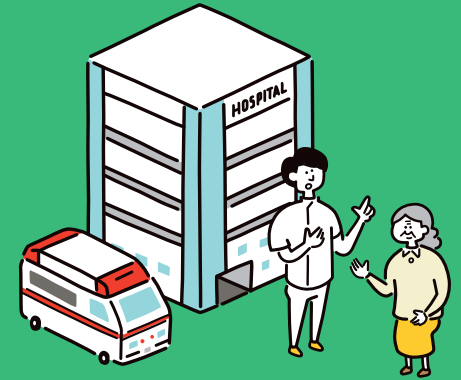
- オクシズ材の活用促進
- 持続可能な林業の推進
- 市営温泉のリニューアル
- 南アルプスの環境保全と自然を楽しむ観光の確立
- 両河内地区自然の家整備
- お茶、ワサビなど特色ある農業の推進

暮らしの中の さまざまなことにも 目を向けてみよう

次は、私たちの生活や仕事に関わる
身近な取組を10の分野にわけ、
政策としてまとめました。



1



健康・福祉

誰もが健やかに生きがいをもって、自分らしく地域で共に生きることのできるまちを実現します。

そのために、地域福祉を支える人づくり・意識づくりや、市民の自主的な健康づくり、就労・社会参加できる環境づくり、安心して暮らせる地域医療の確保などに取り組みます。

2



子ども・教育

すべての子ども・若者が、夢や希望をもって、健やかで、たくましく、しなやかに育つまちを実現します。

そのために、安心して子どもを生み、育てることができる環境づくりや、自ら未来を切り拓くことができる力を持った子ども・若者の育成、個別のニーズに応じた切れ目のない支援などに取り組みます。

3



防災・消防

あらゆる危機から市民の「いのち」と「くらし」を守り、安全・安心に暮らせるまちを実現します。

そのために、常日頃から地域の防災力を向上させ、あらゆる危機に対応できる体制を整えとともに、大災害に備えた防災施設の整備や消防力の強化などに取り組みます。

4



生活・環境

人と自然が共に生き、将来にわたって豊かな営みを続けながら暮らすことができるまちを実現します。

そのために、2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた地球温暖化対策やごみの減量・リサイクル等により、豊かな自然や生活環境を維持するとともに、犯罪等に強い安全で安心して暮らせる社会づくりなどに取り組みます。

5



文化・スポーツ

歴史に育まれてきた多彩なしずおか文化に誇りと愛着を持ち、スポーツ・学びを通して一人ひとりが輝き続けるまちを実現します。そのために、誰もが文化やスポーツに親しむための機会の創出や交流を通じた賑わいづくり、歴史的な地域資源の保存・活用、学んだことを社会で活かすための支援などに取り組みます。

6



観光・交流

国内外の多くの人々を惹きつけ、多彩な交流を通じた賑わいが創出されるまちを実現します。そのために、静岡県ならではの地域資源を活用した観光の推進や情報発信、国内外からの誘客と交流の促進、来訪者へのおもてなしの向上、都心・副都心を中心とした賑わいづくりなどに取り組みます。

7



商工・物流

時代の変化に対応しながら地域資源を磨き上げ、多様なパートナーシップにより、豊かに経済成長を続けるまちを実現します。そのために、経済成長の原動力となるイノベーションの創出や、地域経済を支える中小企業の振興、陸海空の交通インフラを活用した物流促進、それらを担う人材の育成などに取り組みます。

8



農林水産

南アルプスから駿河湾までの多彩な資源を活かし、持続可能な農林水産業を営むまちを実現します。

そのために、次代を担う人材の育成・支援や、安定した生産を可能とする持続可能な生産基盤の整備、お茶、ミカン、ワサビをはじめとした農林水産物の静岡市ブランド化などに取り組みます。

9



都市・交通

快適で質の高いまちの拠点と、住環境・交通環境の充実による、誰もが暮らしたい訪れたい“人中心”のまちを実現します。

そのために、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成や、安全・安心で環境にやさしい住環境の整備のほか、誰もが快適に移動できる交通システムの構築などに取り組みます。

10



社会基盤

経済の好循環を支え、誰もが安全で幸せに暮らすことができる持続可能な社会基盤を有するまちを実現します。

そのために、道路・河川・上下水道の計画的な維持管理・更新や、安全・快適かつ自然災害に強い社会基盤の整備、建設業の担い手の確保、社会基盤分野のDXの推進などに取り組みます。

ここからは、あなた自身のこととして考えてみましょう



「ひと」が輝く



2030年の「あなた」が輝くために、どうすればよいでしょうか？

● あなたが考える「輝いている人」はどんな人ですか？

● なぜ、その人が輝いていると思いますか？

● その人のように輝くには、あなた自身はどうすればいいと思いますか？

● 2030年のあなたが輝いているために、まちの環境がどうなっていてほしいですか？

2030年のあなたの年齢 _____ 才



「まち」が輝く



2030年の「まち」が輝くために、どうすればよいでしょうか？

● あなたが考える静岡市の「ここが推し！」はどんなところですか？

● いまの静岡市のまちの課題は何だと感じますか？

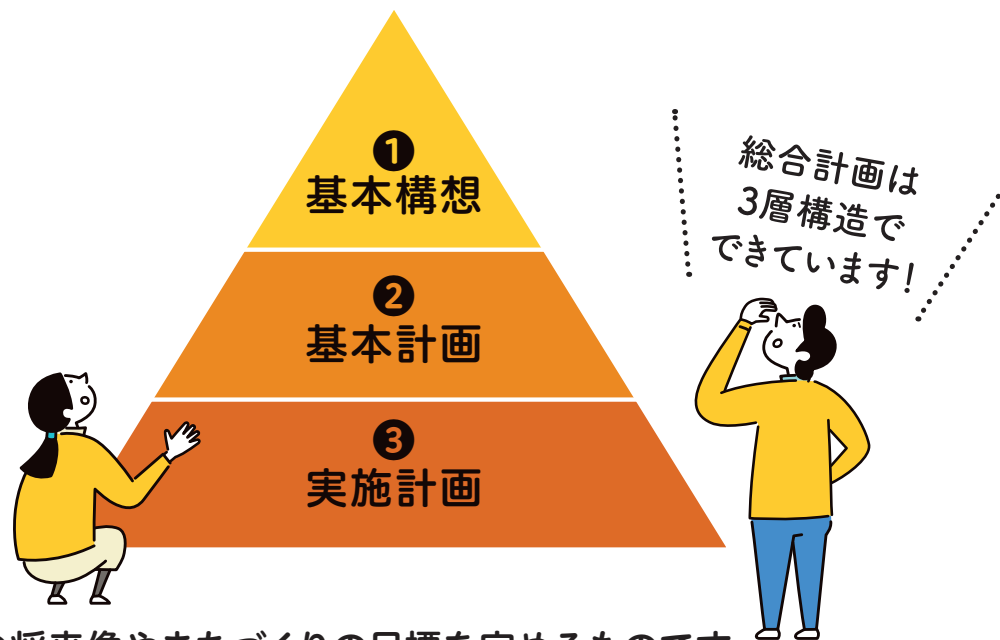
● 推しポイントを伸ばし、また課題を解決し、より良いまちとするために、どうすればいいと思いますか？

● 2030年、世界に輝いている静岡市は、どんなまちですか？

ここまで考えてきた
まちづくりのプロセスを
形にしたもの、
それが「総合計画」です

どうですか？こうやって自分事として総合計画のことを考えたら、
何だかワクワクしてきませんか？「私もまちづくりのことを
考えてみたい、関わってみたい」と思いませんか？

第4次静岡市総合計画の体系



基本構想

まちの将来像やまちづくりの目標を定めるものです

- 基本構想は、長期的に変わることのない基本的なまちづくりの方向性であり、期間の定めはありません。ただし、第4次総合計画では、概ね2040年頃を見据え、「『世界に輝く静岡』の実現」をまちづくりの目標に掲げています。

基本計画

基本構想の実現のために取り組む政策・施策の体系を定めるものです

- 基本計画は、令和5年度(2023年度)から12年度(2030年度)までの8年間と定めています。「SDGsの推進」や「人口活力の向上」といった政策・施策の推進にあたっての基本的な考え方や、「分野別の政策」や「5大重点政策」などの具体的な取組を示しています。

実施計画

基本計画に基づく個別の事務事業を定めるものです

- 実施計画は、期間を前期4年間、後期4年間と定めています。
- 将来的な財政状況の見通しと整合を図りつつ、期間中に取り組む事業を位置付けています。
- 社会経済状況の変化などを踏まえ、毎年度改定を行います。

みんなで一緒に、住むまちの未来について 考えてみませんか？

総合計画とは、将来、静岡市をどのようなまちにしていきたいのか、そのために何をしていくのかを長い目で考え、まちづくりの主役である市民のみなさんと共有するためにまとめたもので、とても大切な役割をもっています。

ですが、「総合計画」と聞いた時、「何だか難しそうでイメージがわからない」「自分には関係なさそうだな」と感じる方も多いのではないのでしょうか。

このトリセツでは、総合計画を作るためのプロセスや、第4次静岡市総合計画の内容をできるだけ分かりやすく要約しました。読んだ方に少しでも「まちづくりの計画ってこうやって作るんだ」「自分もまちづくりのことを考えてみようかな」と思ってもらえたら嬉しいです。



もっと詳しく
知りたい方は
こちらへ！



パソコン・スマホから
デジタルブックがご覧いただけます！

 **Shizuoka ebooks**
<https://www.shizuoka-ebooks.jp>



静岡市企画課

令和5年3月

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL：054-221-1020 FAX：054-221-1295
E-mail：kikaku@city.shizuoka.lg.jp

お名前